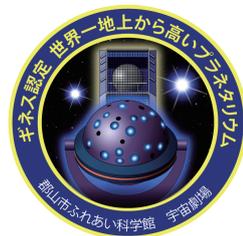


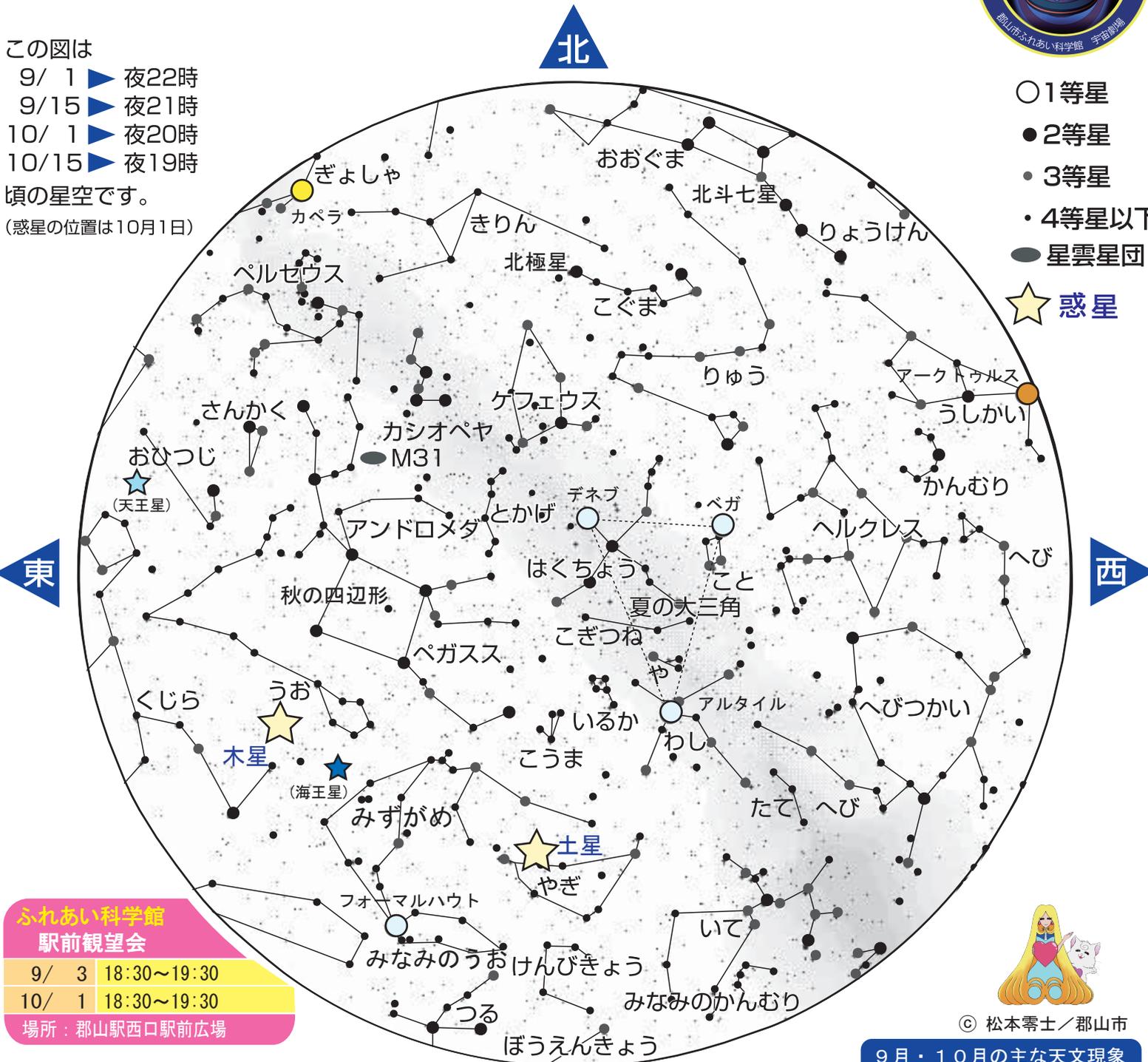
2022年

9月▶10月の星空



この図は
 9/ 1 ▶ 夜22時
 9/15 ▶ 夜21時
 10/ 1 ▶ 夜20時
 10/15 ▶ 夜19時
 頃の星空です。
 (惑星の位置は10月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★惑星



ふれあい科学館

駅前観望会

9/ 3 18:30~19:30

10/ 1 18:30~19:30

場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

9月・10月の主な天文現象

9/10 中秋の名月

9/23 秋分の日

10/ 8 十三夜

10/ 9 水星が西方最大離角

郡山の日の出・日の入

9/ 1 5:08 18:09

9/15 5:20 17:48

10/ 1 5:33 17:23

10/15 5:46 17:03

月の満ち欠け

新月 9/26, 10/25

上弦 9/ 4, 10/ 3

満月 9/10, 10/10

下弦 9/18, 10/18

※上弦、下弦は半月です。

※天王星、海王星は肉眼では見えません。

南

夏が終わり、心地よい秋の訪れです。夏の頃に比べて日の暮れる時間が少しずつ早くなり、季節の変化を感じます。9月23日の秋分の日を過ぎると少しずつ昼よりも夜の時間が長くなり、じっくりと星空を楽しむ時間が増えていきます。宵空を見上げると、季節の星座も夏から秋へと移り変わっています。天頂付近には「夏の三角形」、東の空には「秋の四辺形」を見つけることができます。夏の三角形は「ベガ」「アルタイル」「デネブ」の3つの1等星を結んだ形で、「秋の四辺形」の4つの星はペガサス座の胴体にあたります。

宵空を見ると明るく輝く惑星が2つ見えています。南の空にあるのが土星、東の空は木星です。木星は9月27日に衝(太陽-地球-惑星の順で直線上に並ぶこと)となります。日の入り頃に東の空から昇り、西の空には日の出頃に沈むため、一晩中みることができます。衝の頃の木星は約-3等の明るさで輝き、夜空で存在感を放っています。12月1日に地球との最接近を迎える火星にも注目です。9月中旬に真夜中の東の空で見つけることができ、10月は同じ東の空でも夜半前に探すことができます。10月末には-1.2等に達し、地球に近づくとつれてさらに明るさが増していきます。

